

各地区のまちづくり協議会の状況(平成24年5月現在)

地区名	地区の概要	まちづくり協議会の活動状況			特記事項
		組織運営	集落支援策	情報発信	
荒川	人口 10,840 世帯 3,585 高齢化率 27.93% 協議会数 1 ・あらかわ地区まちづくり協議会	・一般公募された27名が中心となり、今後の事業について各専門部に分かれ検討中。 ・各部会の事業計画がまとめ次第、運営委員会、理事会を経て、事業実施に向けて動き出す。 ◎特徴:若者の積極参加など積極的な住民参加による組織運営	・専門部会において、現在検討中。	・専門部会において、情報発信のあり方を検討中。 ・HPを活用した情報発信も併せて行う。	一般公募者27名の状況 ・昨年度の計画策定プロジェクトメンバーから20名が一般公募者として参加 ・公募者(27名)の内、20歳代が3名、女性の応募者も6名あった。
神林	人口 9,639 世帯 2,867 高齢化率 31.14% 協議会数 5 ・神納地域まちづくり協議会 ・神納東地域 〃 ・平林地域 〃 ・砂山地域 〃 ・西神納地域 〃	・各組織では、各町内集落から選出された運営委員が中心となり、具体的な事業実施のための計画づくり等を進めている。 ・今後の取り組みや方向性を探るため、研修会等を計画する組織もある(神納東、平林)。 ◎特徴:当面は集落活動支援を重視	・各組織とも、昨年度に各集落事業を募集し、今年度事業に予算化。事業着手した集落等もある。	・各組織とも、2ヶ月に1回のペースで発行予定。 ・HPを活用した情報発信も併せて行う。	地区内組織間の連携 ・地区内の組織間の情報交換を行うための正副会長会を4月26日(金)に開催。今後も数回開催予定。 ・5つの協議会が連携し、6月16日(土)に開催する「神林地区敬老会」に向けて実行委員会を組織。 研修会の開催 ・神納東地域まちづくり協議会で、6月29日(金)に、山北地区から講師を招き「第1回まちづくり講座」を開催する予定。 ・平林地域まちづくり協議会では、6月30日(土)に、NPO法人おたすけさんぽくへ視察を計画。
村上	人口 28,749 世帯 10,781 高齢化率 30.48% 協議会数 5 ・村上地域まちづくり協議会 ・岩船 〃 ・活気あふれる街瀬波まちづくり推進協議会 ・山辺里地区まちづくり協議会 ・上海府地区町づくり推進委員会	・各種団体、町内集落から参画するメンバーが核となる専門部会で、具体的な事業計画を検討。 ・既存の分館事業を引き継いだ地域では、各専門部会で、事業検討実施する状況。 ・新たな事業実施や既存の事業の拡充については、専門部会において具体的な事業を検討。 ◎特徴:分館事業を柱とした事業の拡充 ◎特徴:伝統文化の継承・環境保全や町内活動の支援	・各組織とも、町内集落の課題等に応じた事業実施や、町内集落の活動の起爆剤となる事業実施のための支援策を講じている。	・各組織とも、毎月定期的に発行している。 ・HPを活用した情報発信も併せて行う。	
朝日	人口 10,757 世帯 3,147 高齢化率 32.84% 協議会数 5 ・館腰地域まちづくり協議会 ・三面地域 〃 ・たかね 〃 ・猿沢地域 〃 ・塩野町地域 〃	・各町内集落から選出等によるメンバーで、各専門部会で具体的な事業を検討。 ・関係団体等に計画事業に対する協力を依頼。 ・役員会等において計画事業に関する確認、情報交換をする。 ◎特徴:女性の参加が多く、集落支援や地域全体の元気づくりを推進	・各組織において、5月初旬に各集落区長宛てに集落支援のための事業募集に関する通知を発送。ただし、現状、館腰地域まちづくり協議会では、集落支援事業の実施の予定はない。	・各組織において、総会終了後「たより」を発行している状況で、今後、複数回発行予定。 ・HPを活用した情報発信も併せて行う。	【地域の課題として】拠点施設整備を ・塩野町地域まちづくり協議会から、「地域の人が自由に集える拠点を確保したい」等の話が出ている。地域として、喫緊の課題として捉えている状況がある。 研修会(交流会)の開催 ・5月5日(土)に館腰地域まちづくり協議会が、山北地区小俣のイベント、取り組み等を視察。 ・6月3日(日)にたかねまちづくり協議会が、山北地区スローフードフェスタを視察。 ・6月8日(金)に塩野町地域まちづくり協議会が阿賀町へ視察(木質バイオマス)
山北	人口 6,628 世帯 2,421 高齢化率 40.69% 協議会数 1 ・山北地区まちづくり協議会	・各集落選出、一般公募等による、委員により運営する組織を構成。 ・役員会において、今年度の事業方針を確認し、集落支援、専門部会の持ち方、スケジュール等を確認。 ◎特徴:集落および各種団体活動への支援	・各集落支援に関する事業について、各集落に対し、事業募集を実施。 ・各種団体に対しても、活動支援事業に関する事業募集を実施。	・協議会の便りを年4回発行予定。 ・HPを活用した情報発信も併せて行う。	専門部の取りまとめ及び選考委員の募集 ・集落や団体推薦、公募による委員56名から希望する専門部会を取りまとめる。 ・各種支援事業の選考に関する委員を現在公募中。 先進地視察研修 ・7月14日(土)に十日町市池谷集落等へ先進地視察研修に行く予定。

【市の対応】

- ① アドバイザーの設置:各協議会や行政に対する助言をいただき、協議会等の円滑な活動推進を図るため、第1人者である 明治大 学教授:小田切徳美 氏をアドバイザーとして協力をいただく。
- ② 広報活動:市報での特集号(8ページ)を3回(6/1、11/1、3/1予定)発行し、協議会間の情報の共有を図る。
- ③ 市民フォーラム(交流会)の開催:2~3月に協議会が一堂に会し、情報交換を行い、併せて次年度以降の活動の方向と融和を図る。
- ④ 市職員のスキルアップ:協議会担当職員のスキルアップのため、ファシリテーター等の研修会に参加と全職員に対する啓発活動を継続する。
- ⑤ 交付金の充実:協議会活動の活発化に対応するため、交付金の拡充策を検討する。
- ⑥ 活動拠点整備:協議会の活動を支え、かつ、地域の人が自由に集える拠点整備の実現に向けた検討を行う。